

やまぶき

長らく受入を中止していた
 施設見学を再開しました
 (港北区城郷地区民児協様)



◆◆今後の予定◆◆

足柄療護園

- 1月5日 絵馬作り教室
- 1月12日 第2回カラオケ大会
- 1月25日 とんちゃん絵本タイム
- 2月5日 ボーリング節分会
- 2月23日 スポーツ大会
- 3月15日 卓上大会

◆◆今後の予定◆◆

プレアデス

- 1月1日 書き初め (ホーム)
- 1月2日 初詣 (ホーム)
- 2月上旬 バレンタイン (福泉)
- 3月某日 ちいきふくし博
- 3月3日 ひなまつり (関本)
- 3月16日 自分発表会 (福泉)

新年を迎えて

新年明けましておめでとございませう。令和四年の漢字は「戦」でした。ロシアのウクライナへの進行や攻撃には心を痛めました。施設運営のうえで何より思い浮かぶのは、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に振り回され「戦々恐々」とした日々を過ごしていることです。特に足柄療護園では、四回のクラスターが発生し、そのたびに居住されている皆様には生活や活動の制限にご協力いただき、短期入所をはじめ施設の利用休止をお願いするなど大変心苦しい対応をせざるを得ない状況でした。感染された方々が、重症化することなく過ごされたことは幸いでした。なんとか感染拡大以前の日常を取り戻せないかと何度も模索し様々な取組みにチャレンジしています。常に感染のリスクと隣り合わせで、今後も慎重な対応が必要だと考えています。

さて、燃料費や物価高騰により厳しい経営状況ではありますが、四月にはプレアデスの生活介護事業所を、南足柄市生駒に移転すべく工事に掛かっています。グループホームでの生活を想定した生活の訓練など「自立した生活」獲得に向けた新たなプログラムもスタートする計画です。これに合わせて十周年を迎える「ふくらん」を独立した単独事業所として運営を強化してまいります。今後もいっそう地域に根差し、地域の財産となるよう努力してまいります。

最後になりましたが、ご利用の皆様をはじめ平素より格別のご高配とご支援をいただいております皆様方に心より感謝申し上げますとともに、本年も変わりない温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

県西福祉会理事長 松本信輔
 法人事務局長 柴田和生
 足柄療護園施設長 山岸直広
 プレアデス施設長 平田智徳

目次

- 1P…新年を迎えて
- 2P…特集1～施設見学を再開！
- 3P…特集2～音楽の力で明るい空気を！
- 4P…足柄療護園/
 県西福祉センターニュース
- 5P…プレアデス/ふくらんニュース
- 6P…職員研修報告/医務課だより/
 面会制限状況のご案内/他



交流のある他施設と
 オンラインで利用者交流会

新型コロナウイルス感染症が流行する前の令和元年度には、二十八団体八百名を超える見学を受け入れていましたが、感染予防対策から長らく受入を休止していました。施設の外から来てくださる皆様は、施設の中で生活している利用者の方々にとっても、働くスタッフにとっても新鮮な風を吹き込んでくれるとても素敵な存在で、様々な方法で受入れができないか検討してきました。我々が受入れ可能となってもバスに乗り込んで団体での移動はリスクを伴うこともあって、なかなか実現には至らずにいましたが、徐々に問い合わせが増え始め、第七波の感染が落ち着いた九月より、利用者さんとの交流と施設内の見学は行わないなど条件を付加させていただいたうえで、二年半ぶりに受け入れを再開しました。



伊勢原市北区民児協様



藤沢市明治地区社協様



茅ヶ崎市民児協障害者部会様



調布市第三地区民児協様

九月 伊勢原北地区市民児協の皆様を皮切りに、藤沢市明治地区社協、茅ヶ崎市民児協障害者部会の皆様が見学に来られました。十月 横浜市港北区城郷地区民児協、調布市第三地区民児協の皆様にお越しいただきました。せっかくご予定いただいたのですが、足柄療護園内で新型コロナウイルスの感染が発生してしまった関係で、やむなくバスの中での施設紹介となってしまうことが大変悔やまれます。 感染対応期間が明けた十二月初頭、総勢四十三名の学生さんたちが見学に来られました。利用者講演の時間には学生様からたくさん質問を頂き、とても充実した時間となりました。



中央医療健康大学校様

★コラム

施設見学・利用者講演の目的

施設見学にお越しいただいた際には、施設を利用していただく方の講演を聴いていただくの機会を設けています。これには、主に次のような目的があります。

- 一、障害について広く知っていただく機会を提供する
- 二、障害が身近なものであることを感じていただく
- 三、講演を行う利用者の方が、皆様に広く知らしめるといふ使命感や目的意識を持つことで、より生き生きとした生活を実現する

講演のテーマは、その方の生い立ちや障害との付き合い方など十人十色。



平成二十年より開始したこの取り組みは、「皆様に真剣に聞いていただけるだろうか?」、「自分に人前で話す資格があるのだろうか?」等々、不安な気持ちと隣り合わせでもあります。しかし、聞いてくださった皆様から毎回沢山の言葉のプレゼントをいただくことができ、利用者・スタッフ共々この活動を始めて本当に良かったと感じています。

特集 2

音楽の力で明るい空気を!

収まる様子のないコロナ禍でも明るい空気を運ぼうと様々な取り組みをしている方もいます。ここではその一部をご紹介します。

施設居住者によるコンサート

デュエットコンサート

十二月のコンサート本番に向けて、何度もリハーサルを重ねてきたお二人。

コンサート当日は全部で五曲の曲目をお客さんの前で歌いきるため、リハーサルでは歌詞を見ないで歌えるように練習を重ねました。

残念ながら、開催予定だったコンサートは施設内での新型コロナウイルス発生により延期となってしまいました。また時期を改めて再開できる時を楽しみに練習に励んでいます!



ソロコンサート

一人で九曲を歌い上げる予定で、構成についてもニコニコと笑顔で案を出し、より良いコンサートにするため取り組んできました。

リハーサルでは熱心に歌い上げ、コンサート当日をとてもし楽しみに待ち望んでいました。彼のコンサートもまた延期に:

しかし、担当職員から「またコロナ感染が落ち着いたら改めて開催しましょう」と話があると「うん」と笑顔で答えており、次回の開催に意欲的な様子が伺えました。



音楽療法の取り組み

毎月第一水曜日と第二金曜日は音楽療法士による音楽教室を行っています。グループは全部で三つあります。

「オーブングループ」は、入所利用者二十〜三十名の方が参加されるオーブンのグループです。季節の歌を歌ったり、リクエスト曲の演奏、口腔体操を行っています。

「五感を刺激グループ」は、通所利用者十名のグループです。音楽に合わせたマッサージや季節の香りを通して、聴覚、視覚、嗅覚、触覚の刺激を行っています。世界の珍しい楽器に触れて、風景を感じることも行っています。

「アートグループ」は、入所利用者四名のグループです。ハンドベル演奏やコーラスの練習をしています。「おじさんず」のグループ名で施設内のクリスマスコンサートなどに出演しています。

皆で音楽を奏で、体を動かし、演奏に耳を傾けることでコロナ禍における閉塞感を吹き飛ばしています。





十人十色のカレンダー制作



通所施設でフラダンス♪



毎年恒例の作品コンテスト

足柄療護園ニユース

ハーバリウム教室

十月、ボランティアアさんのご指導のもと、お花などを油で瓶詰めするハーバリウムを作りました。感染拡大以降、ボランティアさんには別室でリモートでの活動をお願いしていましたが、コロナ禍となつて以来はじめて対面形式での実施を試みました。



やはり、同じ空間で活動できるのは気持ちが良いですね！
ご利用者の皆様の表情もより一層明るい印象を受けました。



焼きも会

十一月二十三日、焼きも会を開催しました。

本格的な焼きいも器で、じっくり時間を掛けて焼かれたサツマイモは中心までしっかりと火が通り、柔らかくほくほくに仕上がりました。普段の食事ではなかなか食べられない焼きたての味に、利用者皆様が笑顔で召し上がる姿がとても印象的でした。

焼きも会終了後、利用者さんから、「美味しかったよ」「またやって欲しい」と多くの声が聞かれました。



県西福祉センターニユース

生活介護では創作活動で毎月のカレンダーや季節に合わせた壁面を作っています。

十月のカレンダーでは「行楽の秋」にちなんで、お弁当をつくりました。お弁当にはおにぎりがあり、自身の具は利用者さんの好きな具にするなど、考える楽しみもありました。おかずもそれぞれ選びお弁当箱につめました。(おいしそう！)



季節の壁面は利用者さんと職員が一緒に制作します。秋まつりは中止ですが、作品コンテストは開催され、利用者さんが制作した作品も展示されました。





制作活動の様子

バスボム作り

ペーパーランタン作り

ハロウィンパーティ

フレアデスニュース

関本事業所では十一月十六日に大雄山へ紅葉狩りに出かけました。徒歩グループとドライブグループにわかれて、秋晴れの中、散策を楽しみました。



十一月、福泉事業所に、ふくらんの見学を希望した南足柄小学校の二年生が来られました。



グループホームでは、十月二十二日によこはま動物園ズーラシアへ出かけました。久しぶりの遠出に気分は最高。非日常を楽しんできました。



ふくらんニュース

新年あけましておめでとうございます。おかげさまでふくらんも十回目の新年を迎えることができました。これも皆様のご支援のおかげと心より感謝致します。イベント販売中止などコロナの影響はまだみられますが、ふくらんには多くのお客様が来店して下さいました。そのような状況の中、年末の十一月にはアマゾン小田原様より「シユーラスク」・「たまごクッキー」合わせて二千三百個、十二月には「シユークリーム」と「プリン」合わせて二百個という大口の注文があり、約一ヶ月かけて職員・利用者で協力して製作し無事に納品を済ませました。

今回で五回目のお付き合いとなるこの取り組み。年末で忙しくなる従業員さんに配布されるそうです。ふくらんのお菓子はとても喜んでいただけるよう良かったです。地域に寄り添ったこの取り組みに今年も参加できるようにふくらんスタッフ一同頑張っております。今年も皆様、宜しくお願いたします。



ふくらん店長 大賀史都



医務課だより

以上を意識して、免疫力を上げ病原菌やウイルスから体を守りましょう。

医務課より

- ④ 良く笑いストレス解消する
- ③ 栄養バランスのとれた食事で腸内環境を整える
- ② 質の良い睡眠をとる
- ① 代謝・体温を上げる

病気に負けずに健康な毎日を送るには、免疫力を上げることが重要です。そこで、免疫力を上げるための四つの方法をご紹介します。

免疫力を上げましょう！



職員研修について

依然終息の目途が立たないコロナ禍ではありますが、リモートツールを活用するなど工夫をしながら福祉サービスを担う職員としてのスキルアップ等を目的に職員研修を行っています。

昨年後半はコロナの影響で思うような開催ができませんでしたが、十一月に中堅職員対象の感染対策スペシャリスト養成研修などを実施しました。

＜最近の実施例＞
11月「感染症対策」
感染症.comによる講習
11月「介護研修」
ロホクッションの知識



リモート面会 推奨中



足柄療護園では感染防止対策として、ZOOMを活用したリモート面会を導入しています。ホームページにて面会方法や面会制限についてご紹介しておりますので、詳しくは下記QRコードをご覧ください。

編集後記

今年も地域に根差した活動を！

県西福祉会では、地域に根差した活動の一つとして近隣の学校と連携して学生さん向けの交流機会を設けさせていたいております。

このようなご時世、感染症対策を考へながらにはなりますが、今後とも様々な形で地域に密着した活動を続けていきたいと考えております。

寒い季節が続きます。皆様もどうか健康第一で新年をお過ごし下さいませ。本年も宜しくお願い致します。

広報委員一同



小田原短期大学
出張講演活動



大井高校生の実習

職員募集中！

(詳しくは当法人HPをご覧ください)

KENSEI-FUKUSHIKAI



足柄療護園では、感染拡大防止策としてレベル0からレベル2までの「レベル別面会制限」を設定しています。制限状況については、随時ホームページにてお知らせします。



身体に障害をお持ちの方の、
通所及び入所のご相談は…

Tel:0465-73-5540

県西福祉センター
担当:ささき



知的や精神に障害をお持ちの方の
通所利用のご相談は…

Tel:0465-71-0158

プレアデス
担当:ひらた



県西福祉会

検索

発行:令和5年1月1日

社会福祉法人県西福祉会
神奈川県南足柄市三竹740-3

Tel:0465-73-5540

Vol. 80